

東部療育通信-2024年11月号-

入所と地域の障害児者の生活を支援するメールマガジン

発行東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき、誠にありがとうございます。
ます。

今回のメールマガジンは、「痙縮に対する体外衝撃波治療」についてご紹介します。

Key words: 脳性麻痺、痙縮、体外衝撃波治療

衝撃波とは、音速を超えて伝わる圧力波のことです。

衝撃波を皮膚の上から患部に当てることにより

- ・痛みの受容体である神経終末を可逆的に変性させることによる除痛作用
- ・コラーゲンを上昇させ組織再生や血管新生を促進する作用
- ・骨芽細胞増殖に関わる因子を増加させ骨癒合を促進させる作用

などが認められており組織修復作用が期待されています。

体外衝撃波装置内には水が蓄えられており、その水の中で衝撃波を発生させ体表から当てます。その際、水分を多く含む筋肉と脂肪は通過し、硬い腱付着部、特に腱の変性部分、骨に当たると衝撃波は屈折、反射しエネルギーが放出され、体内深くにある患部のみにピンポイントで当てるのが可能になる治療法です。この体外衝撃波治療法は元来、腎臓結石や尿管結石など体内にできた結石に照射することで外科手術を行わずに結石を破碎できる治療方法として利用されてきた歴史があります。また獣医による競走馬の変形性関節症にも用いられてきました。

圧力波が集束して焦点に集まる集束型体外衝撃波治療が疼痛治療装置として医療機器の承認を受け、医療保険適応となりました。臨床においては治療機転が働きにくい難治性足底筋膜炎、石灰沈着性腱炎、アキレス腱炎などの慢性腱障害に対する疼痛治療効果が確認されています。集束型体外衝撃波治療は主に電磁誘導方式で衝撃波を発生させる管理医療機器クラス III に分類され、医師のみが使用可能な医療機器です。しかし 2000 年代に入ってから、圧縮空気によるピストンで圧力波を発生させる拡散型体外衝撃波が開発され、より安全に使用可能となり管理医療機器クラス II に分類されました。そのため理学療法士、柔道整復師や他の医療従事者にも使用が可能となり注目を浴びています。

本邦では慢性疼痛を有するテニス肘、ゴルフ肘などスポーツ選手への治療、中高年に発生しやすい凍結肩 (frozen shoulder) などへの有効性が既に報告されています。整形外科の領域では脳性麻痺患者の上下肢痙縮に対して臨床応用されその有効性が報告されています¹。

痙縮改善の作用機序として体外衝撃波による神経終末におけるシナプス（接続部）を限局的に破壊させその再生を促すものと考えられています。但し照射の際、骨に当たると疼痛を自覚するまた、筋自体に痛みを自覚することもあり使用前の十分な説明も必要です。

今後さらに臨床報告が増えその有効性が期待される治療法のひとつと思われます。

現在、痙縮治療で行われている各種内服療法、バクロフェン髄腔内投与療法、ボトックス治療、脊髄後根切除術との位置付けも今後の課題といえそうです。

¹Kenmoku T et al. Muscle Nerve2018 ; 57 : 466-472

診療部小児科

今回のメールマガジンはいかがでしたでしょうか？

ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくお寄せください。

| I | N | D | E | X |

1 : 施設概要のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

2 : ご利用案内のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/>

3 : 施設開放サービス

→http://www.tobu-ryoiku.jp/service/opening_service.html

4 : 医局

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/department/medicaloffice.php>

| 施設概要

●東京都立東部療育センターは、重症心身障害児者の医療と療育を総合的に行う施設です。

●少子化が進行する中であっても、心身障害児者は減少しておらず、また、障害の程度は重度・重症化しています。更には、家族が高齢となったため家族介護が困難で施設入所を希望している方も増えています。

●一方で、できる限り住みなれた地域で在宅の療育を望んでいる障害者や家族の方達は多く、その支援の充実を図ることが一層必要となっています。このような状況に対応するため、重症心身障害児者施設が整備されていなかった区東部地区に設置することにしました。

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

- ◆このメールはmsw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。
 - ◆送信アドレスは配信専用です。お問合せやお手続きは下記よりお願いします。
-

東部療育通信

発行：東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先：<https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-25

TEL 03-5632-8070 / FAX 03-5632-8071

E-mail msw_trc@mtrc.jp

●配信がご不要の方は、下記URL にアクセスして下さい

<https://www5.webcas.net/gs/p/delete-user>

Copyright (C) TOBU RYOIKU CENTER. All Rights Reserved.